

作成日：R6年4月10日

令和6年度第1回 高松圏域自立支援協議会 当事者団体・家族会部会議事録

日付	令和6年4月5日(金)
時間	10:00 ~ 12:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室
参加機関等	むつみ会、高松市障がい福祉課、高松市身体障害者協会、障害者生活支援センターあい、地域生活支援センターこだま、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、ライブサポートセンター 欠)香川県難聴児(者)親の会、地域活動支援センタークリマ、香川県自閉症協会 順不同 計8名

議題1：今年度の取り組み「パラスポーツ選手と小学生の交流(講演会+交流)」	
議事	<p>【意図】 障がいのある方の夢や希望が叶うまちをつくるためには、小さい頃から当事者と触れ合うこと、草の根運動が大事なのではないかな。</p> <p>【講師の選定について】</p> <ul style="list-style-type: none">・かがわ総合リハビリテーションセンターの体育指導員・市のスポーツ振興課に確認してみる。・ジャパンパラ陸上が9月に屋島レクザム開催されるので、その関連でイベント等はないか調べてみる。・スポーツ指導員香川県会長に確認してみる。・香川県出身の大学生でデフリンピック日本代表のバドミントンの選手がいる。 <p>【対象候補】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ少年団・支援学級がある小学校・講師本人の出身校・これまで啓発活動を行ってきたことがある小学校 <p>【開催方法】</p> <p>最初から企画するのではなく、既存のイベントで部会として参加できるイベントを探して共同する方法を検討するのが妥当ではないかな。</p>

	<p>★障がい者スポーツ大会は身体障がい者中心なので、精神障がい者も参加出来るようにスポーツイベントになることを希望する。(現在、出場できる種目は卓球のみ)</p> <p>★部会の取組みとしては講座などの一回きりというより、定期的・継続的・頻回に交流を持てる仕組みづくりが役割なのではないか。</p>
決定事項	今年度はパラスポーツ選手と小学生の交流に絞って取り組む。
今後の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・市障がい福祉課がスポーツ振興課に現在の事業について(頻度・内容)尋ねる。 ・事務局で香川県難聴児(者)親の会に連絡を取る。

議題 2：今年度の取り組み「合理的配慮が義務化されるあたって」	
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がよく利用するお店などを対象に啓発活動を行う(映画館、プール、うどん屋など)。 ・講演会等を企画するときに対象を当事者にするか支援者にするのか？ ・市の出前講座を支援員対象で研修を行う。 ・イオンモールなど合理的配慮が進んでいるところで啓発活動を行う(すでに幸せの黄色いレシートキャンペーンなど実施されている)
決定事項	どこまでが合理的配慮で、どこからが過剰なサービスか見分けるためにも、事例を集めることが必要である。
今後の動き	現状把握のためのアンケートを作成し、当事者の声を集める。 下半期や来期を見据えて取り組む。

議題 3：今年度の取り組み「防災に対する取り組み」	
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設でBCP作成が必要 ・災害弱者ネットワークでも継続的に取り組んでいる。
決定事項	各地域でしっかり取り組まれているため、ここでは取り上げないこととする。

議題 4：次回について	
議事	・開催は6月 10・11・12日 決まり次第事務局より連絡する。